

洋服づくりをコーディネートする

にわ かぶしきがいしゃ
丹羽ベビー 株式会社

〒482-0033 岩倉市神野町平久田 73

TEL : 0587-66-1122

http://www.niwababy.jp



■会社概要

1962(昭和37)年に岩倉市神野町で創業した洋服の製造会社。創業当時は「丹羽メリヤス」という名前で、取り扱っている商品はベビー肌着 100%でした。法人化の際に「丹羽ベビー」と改め、今は、ベビー服・子供服・婦人服などのアウターも製造しています。

すべて国内生産、高感度・高品質の製品づくりにこだわり、「きっちり、にっこり、あつあつ」を経営理念として、日々楽しく、感謝と熱意をもちながら、誠心誠意業務に取り組んでいます。



普段着ている服がどうやって作られているか知っていますか。有名ブランドの洋服を生産している会社が岩倉市にあります。

洋服ができるまで

主な商品はベビーや子供服です。アパレル会社から委託を受けて生産するOEMが5〜6割で、残りは自社企画商品「TENTOMUSHI(てんとう虫)」を生産し、ネットショップと百貨店・セレクトショップで販売をしています。

注文に応じてデザインを考え、パターンを作成し、裁断、縫製、仕上げ、検品を行います。

プリント・刺繍・縫製加工などは複数の国内協力工場に依頼していますが、生地、加工工程、製品のグレード等によって、協力工場の組み合わせを変えて最適な生産ラインを組み立てます。

言ってみれば、たくさんある加工所のコーディネート機能を担当しています。

パターンはCAD、裁断はCAMを導入する企業もありますが、縫製業は手作業が多く、最終的なアイロンでの仕上げや値札付け・検品に至るまでのほとんどの工程を人の手で丁寧に行っています。

細やかな対応、質の高い製品づくり

国内のデパートや専門店向けの商品では、見栄えだけでなく着心地やフィット感など、より上質なものが求められます。それに応えるため、ここは、小規模の製

造会社では珍しく、デザイナーとパターンナーを配置しています。パターンとは洋服の型紙のこと、型紙をつくる人をパターンナーと言います。

アパレル側からパターンが送られてくることもあります。ここにはパターンナーがいるため、デザイン画を送るだけで、パターンと洋服を作ってもらえるのです。また、送られてきたデザインやパターンがおかしい場合、修正を提案することができます。

生産拠点の海外移転が進んでいますが、デザイン、パターンへの対応、生地の違いに対するミシンの調整やアタッチメントの工夫など、日本の企業の細やかな気遣いは素晴らしい、商品の完成度は全く違います。

海外からの観光客なども日本製の製品を求めており、再び、国内生産の需要は高まっています。



「小学校3年生の時に、父親が商品のサンプルをいくつか持ってきて、どれがいいと聞かれたことがあります。販売した結果、自分の選んだものが一番売れたということを知っていて、とてもうれしかったのを今も覚えています。それがこの道に進むキッカケだったのかもしれない」と三輪専務は語ります。

子どもの頃のキッカケを一步步つ実現してきました。